

## 議案 1.

## 2001 年度事業報告

## 1. 会員数の動向 (2002 年 3 月 31 日)

会員数合計	4,466(昨年より -46)
通常会員	3,923(-59)
一般 A	2,744(-36)
B	877(-29)
学生 A	238(-4)
B	64(+10)
特別会員	199(+11)
個人	54(+1)
団体	145(+10)
団体会員	287(-4)
団体 A	124(+1)
B	163(-5)
賛助会員	43(0)
名誉会員	14(+6)

## 2. 機関誌等の刊行

- (1) 天気 48 巻 4 号～49 巻 3 号 12 冊(996 頁)  
 昨年度より 141 ページ増。各号約 4600 部印刷
- (2) 気象集誌 79 巻 2 号～80 巻 1 号 6 冊(828 頁)  
 昨年度より 580 ページ減。各号 1900 部印刷
- (3) 気象研究ノート

200 号 「ドップラー気象レーダー」	
154 頁	1850 部 印刷
201 号 「アンサンブル予報」	
124 頁	1850 部 印刷

- (4) 予稿集 春季大会 1550 部 印刷  
 秋季大会 1500 部 印刷

## 3. 会議等の開催

- (1) 総会 2001 年 5 月 9 日東大安田講堂  
 出席者：216 名、総会参加票：2,648 名  
 計：2,864 名
- ア 2000 年度事業報告・決算報告、  
 2001 年度事業計画・予算が承認された。
- イ 理事の辞任に伴う補充選任が承認された。  
 辞任：巽 保夫 新任：藤谷徳之助  
 古賀 晴成 巽 保夫  
 長坂 昂一 平木 哲
- ウ 「日本気象学会細則の追加および規定の一部改訂」が承認された。

## (2) 理事会

- 第 31 期 (第 4 回) 2001 年 5 月 8 日東京  
 第 31 期 (第 5 回) 2001 年 10 月 10 日岐阜  
 第 31 期 (第 6 回) 2002 年 3 月 25 日東京

## (3) 常任理事会

- 第 31 期 (第 9 回) 気象学会事務局  
 第 31 期 (第 10 回) 東大士会館

- 第 31 期 (第 11～13 回) 気象学会事務局  
 第 31 期 (第 14 回) 岐阜県民ホール  
 第 31 期 (第 15～18 回) 気象学会事務局  
 第 31 期 (第 19 回) 気象庁予報部会議室

## (4) 評議員会

- 第 31 期 第 2 回 2002 年 3 月 25 日  
 会場：気象庁予報部会議室

## 4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会 2001 年 5 月 8～10 日  
 会場：東大本郷キャンパス  
 (担当：東大気候システム研究センター)  
 シンポジウム：21 世紀の気象学  
 ー将来展望ー
- (2) 秋季大会 2001 年 10 月 10～12 日  
 会場：岐阜県民ホール  
 (担当：中部支部)  
 シンポジウム：東海豪雨  
 ー自然・都市・人間の関わりー

## (3) 研究会、月例会等

- ア IGBP/GAIM 研究連絡会  
 岐阜 2001 年 4 月 6 日  
 岐阜 2001 年 10 月 13 日
- イ 極域・寒冷域研究連絡会  
 東京 2001 年 5 月 10 日  
 岐阜 2001 年 10 月 12 日
- ウ メソ気象研究連絡会  
 東京 2001 年 5 月 7 日  
 名古屋 2001 年 10 月 9 日
- エ オゾン研究連絡会  
 岐阜 2001 年 10 月 10 日
- オ 第 13 回夏の学校  
 指宿 2001 年 7 月 28～30 日
- カ 第 45 回山の気象シンポジウム  
 東京 2001 年 6 月 16 日
- キ 長期予報と大気大循環  
 東京 2001 年 11 月 26 日
- ク 気象教育研究連絡会  
 東京 2001 年 5 月 7 日  
 岐阜 2001 年 10 月 12 日

## (4) 他学会との共催等

- ア 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会  
 2001 年 6 月 4～8 日
- イ 第 38 回理工学における同位元素研究  
 発表会 2001 年 7 月 11～13 日
- ウ 第 18 回エロゾル科学技術研究討論会  
 2001 年 7 月 26～28 日
- エ 第 3 回非静力学モデルに関する

- ワークショップ 2001年9月18、19日  
 オ ワークショップ「地球温暖化の日本への影響」  
 2001年11月12日  
 カ インド洋の大気海洋結合系力学国際  
 シンポジウム 2001年12月17～18日  
 キ 第51回理論応用力学講演会  
 2002年1月22～24日  
 ク 第48回風に関するシンポジウム  
 2002年1月25日  
 ケ 第17回北方圏国際シンポジウム  
 2002年2月24～28日

## 5. 研究業績の表彰

- ア 日本気象学会賞  
 近藤 豊 東京大学  
 露木 義 気象庁数値予報課  
 イ 藤原賞  
 近藤 純正 東北大学名誉教授  
 武田 喬男 名古屋大学名誉教授  
 ウ 山本・正野論文賞  
 谷本 陽一 北海道大学  
 渡部 雅浩 東京大学  
 エ 堀内賞  
 久保田雅久 東海大学  
 小池 真 東京大学  
 オ 奨励賞  
 出口 一 福岡管区気象台  
 大久保 篤 富山地方気象台  
 加治屋秋実 大島測候所

## 6. 支部活動

- (1) 北海道支部  
 ア 研究発表会 (札幌) 2001年6月8日  
 (札幌) 2001年11月16日  
 イ 講演会 (函館) 2001年10月20日  
 (2) 東北支部  
 ア 気象講演会 (青森) 2001年11月6日  
 イ 支部講演会 (仙台) 2001年12月18日  
 (3) 中部支部  
 ア 総会 (名古屋) 2001年7月13日  
 (4) 関西支部  
 ア 総会・年会 (大阪) 2001年6月23日  
 イ 例会・講演会 (広島) 2001年10月24日  
 (高松) 2001年11月22日  
 (神戸) 2002年2月20日  
 (5) 九州支部  
 ア 気象教室 (福岡) 2001年8月18日  
 イ 支部発表会 (長崎) 2002年3月7日  
 (6) 沖縄支部  
 ア 親と子のお天気教室  
 (那覇) 2001年8月10日  
 イ 防災気象講演会 (那覇) 2001年8月10日

ウ 気象研究会 (那覇) 2001年11月8、9日

## 7. 普及活動

- (1) 第35回夏季大学  
 2001年8月6～8日  
 東京大学山上会館 (本郷キャンパス内)  
 「新しい気象学」-21世紀の気候を読む-  
 (2) 関西支部第23回夏季大学  
 2001年7月24、25日 京都大学理学部  
 一気候変動一  
 (3) 北海道支部第19回夏季大学  
 2001年7月25、26日  
 第1日目 札幌市青少年科学館  
 第2日目 北海道大学低温科学研究所  
 「新しい気象」  
 (4) 中部支部 第8回気象講座  
 2001年8月20日 名古屋  
 一名古屋の夏は何故暑いかな  
 (5) 気象技術講習会  
 ア 気象学の基礎 (第4回)  
 2001年2月14日～5月16日 (毎週水曜日)  
 イ 専門課程 (第4回)  
 リモートセンシングによる気象観測  
 2001年12月2～4日

## 8. 国際学術交流活動

- 国際学術研究会参加補助 (5名)  
 1) IAMAS2001 (ホストリア、イスタブルック)  
 日尾 泰子 (京都大学)  
 吉田 聡 (北海道大学)  
 2) Global Change Open Science Conference  
 オランダ (アムステルダム)  
 高村 陽子 (京都大学)  
 3) AGU2001 Spring Meeting (アメリカ、ボストン)  
 宮崎 雄三 (東京大学)  
 4) International Conference on Meteorology and  
 Typhoon in East Asia (台湾、台北)  
 前坂 剛 (北海道大学)

## 9. 電子情報関連

- (1) 文部省学術情報センターによる電子図書館  
 サービス運用開始  
 気象学会の機関誌(気象集誌・天気)も電子化され  
 インターネットを通してユーザーに閲覧可能となった  
 (2) 学術情報センターによる気象学会編「学術用語集」  
 データベース作成・公開

## 10. その他

- (1) IUGG/IAMAS 総会 (気象学会代表木  
 田理事) 及び研究発表会 (気象学会員多  
 数) への参加



収支計算書

勘定科目	1. 収入の部 (2)		2.001 年度		2001 年4月1日～		2002年		備考
	予算額 (A)	決算額 (B)	内		差異 (B-A)	達成率 (B/A)	備考		
			公益部門	収益部門					
7. 引当金取崩収入	2,113,000	2,153,057	2,153,057		40,057	101.9%			
退糖金引当金	2,113,000	2,153,057	2,153,057		40,057	101.9%			
8. 雑収入	655,500	552,027	526,295	25,732	△103,473	84.2%			
受取利息	185,500	36,313	36,313		△149,187	19.6%			
著作権複写許可料	420,000	212,706	212,706		△207,294	50.6%			
印税	50,000	25,732	25,732		△24,268	51.5%			
その他雑収入	0	277,276	277,276	0	277,276	****		誤納入金郵便料受取人払担保金返却	
当期(純)収入合計	86,103,500	82,195,324	66,463,631	15,731,693	△3,908,176	95.5%			
前期末繰越収支差額	21,217,252	21,217,252	19,391,637	1,825,615	0	100.0%			
(純)収入合計	107,320,752	103,412,576	85,855,268	17,557,308	△3,908,176	96.4%			
収益から公益へ寄付		1,480,000	1,480,000		1,480,000	****			
当期収入合計		83,675,324	67,943,631	15,731,693					
収入合計		104,892,576	87,335,268	17,557,308					

勘定科目	2. 支出の部 (1)		2.001 年度		2001 年4月1日～		2002年		備考
	予算額 (A)	決算額 (B)	内		差異 (B-A)	達成率 (B/A)	備考		
			公益部門	収益部門					
1. 事業費	56,047,000	50,559,376	43,836,152	6,723,224	△5,487,624	90.2%			
天気	24,764,000	25,332,445	22,502,431	2,830,014	568,445	102.3%		(収) 広告、別冊経費	
印刷製本費	18,779,000	19,397,620	16,609,536	2,788,084	618,620	103.3%			
編集委員会費	1,200,000	1,200,000	1,200,000		0	100.0%			
通信運搬費	4,785,000	4,734,825	4,692,895	41,930	△50,175	99.0%			
気象集誌	11,082,000	11,716,156	10,823,650	892,506	634,156	105.7%		(収) 別冊経費	
印刷製本費	7,438,000	8,141,826	7,447,965	693,861	703,826	109.5%			
編集委員会費	1,289,000	1,289,000	1,289,000		0	100.0%			
校正料	600,000	604,191	604,191		4,191	100.7%			
通信運搬費	1,755,000	1,681,139	1,482,494	198,645	△73,861	95.8%			

収支計算書

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	2001年度		達成率 (B/A)	備考
			内 公益部門	収益部門		
2. 支出の部 (2)						2001年4月1日～ 2002年 3月 31日
気象研究ノート	8,620,000	2,959,892		2,959,892	34.3%	
印刷製本費	6,400,000	1,863,576		1,863,576	29.1%	200.201号
編集委員会費	440,000	385,000		385,000	87.5%	
原稿料	840,000	254,400		254,400	30.3%	
通信運搬費	940,000	456,916		456,916	48.6%	
予稿集	2,412,000	2,395,158	2,264,346	40,812	95.6%	(収) 広告経費
印刷製本費	1,672,000	1,503,390	1,462,578	40,812	89.9%	
通信運搬費	740,000	801,768	801,768		108.3%	
大会開催	4,360,000	4,251,039	4,251,039		97.5%	会場費、運営費
春秋大会	4,000,000	3,984,459	3,984,459		99.6%	
その他会合	210,000	116,580	116,580		55.5%	
講演企画委	150,000	150,000	150,000		100.0%	
教育と普及	1,369,000	1,233,640	1,233,640		90.1%	
委員会	150,000	150,000	150,000		100.0%	
夏季大学開催	369,000	290,560	290,560		78.7%	
支部夏季大学補助	300,000	300,000	300,000		100.0%	
夏季大学エキスパート表彰・奨励	550,000	493,080	493,080		89.7%	
賞金	1,820,000	1,686,809	1,686,809		92.7%	各賞8名、奨励金3名
委員会	1,000,000	1,100,000	1,100,000		110.0%	
雑費	310,000	193,940	193,940		62.6%	
国際学術交流	510,000	392,869	392,869		77.0%	「賞金」受賞者旅費を含む
参加旅費補助	1,320,000	674,237	674,237		51.1%	6名
交流事業	1,100,000	650,000	650,000		59.1%	
委員会費	200,000	24,237	24,237		0.0%	
研究連絡会	20,000	200,000	200,000		121.2%	
受託業務費	300,000	0	0		66.7%	
その他事業費	0	200,000	200,000	0	****	
	0	200,000	200,000	0	****	

収支計算書

2. 支出の部 (3)	勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	内		訳		2,001年度 差異 (B-A)	達成率 (B/A)	2002年4月1日～ 2002年3月31日 備考
				公益部門	収益部門	公益部門	収益部門			
2. 管理費		31,522,000	29,858,864	22,991,187	6,867,677	△1,663,136	94.7%			
人件費		15,186,000	15,097,883	11,323,412	3,774,471	△88,117	99.4%			常勤職員3名
職員給料		12,566,000	12,304,920	9,228,690	3,076,230	△261,080	97.9%			
福利厚生費		823,000	947,483	710,612	236,871	124,483	115.1%			
臨時雇用賃金		1,797,000	1,845,480	1,384,110	461,370	48,480	102.7%			天気書記
退職金		2,113,000	2,113,000	2,113,000		0	100.0%			
事務局製造経費		7,192,000	6,997,431	5,406,909	1,590,522	△194,569	97.3%			
賃借料		1,566,000	1,374,273	1,030,704	343,569	△191,727	87.8%			
光熱水料		150,000	97,426	73,069	24,357	△52,574	65.0%			
消耗品		372,000	319,431	239,573	79,858	△52,569	85.9%			
什器備品		300,000	635,355	635,355	0	335,355	211.8%			ハンコン2台、ファクシミリその他
借料		258,000	257,040	192,780	64,260	△960	99.6%			
通信運搬費		1,714,000	1,685,240	1,263,930	421,310	△28,760	98.3%			電話料を含む
印刷製本費		1,300,000	1,176,672	882,504	294,168	△123,328	90.5%			
旅費交通費		10,000	2,400	1,800	600	△7,600	24.0%			
会議費		10,000	1,470	1,102	368	△8,530	14.7%			
交際費		20,000	1,000	750	250	△19,000	5.0%			
手数料		370,000	422,271	316,703	105,568	52,271	114.1%			振込、会費のクレジット利用等
事務委託費		360,000	317,188	237,891	79,297	△42,812	88.1%			会費請求書作成等
諸会費・謝金		340,000	340,000	255,000	85,000	0	100.0%			会計士謝金、労働保険協会等
その他		422,000	367,665	275,748	91,917	△54,335	87.1%			

収 支 計 算 書

2. 支出の部 (4) (円) 2001 年度 2001 年4月1日～ 2002 年 3 月 31日 備 考

勘 定 科 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	内		取 益 部 門	差 異 (B-A)	達 成 率 (B/A)	
			公 益 部 門	記				
電子情報	170,000	157,024	117,768	39,256	△12,976	92.4%		
電算機開発管理	980,000	376,146	282,109	94,037	△603,854	38.4%		
総会・役員会	1,961,000	1,413,614	1,060,210	353,404	△547,386	72.1%		
遊券費用	759,000	543,788	407,841	135,947	△215,212	71.6%		
支部交付金	2,500,000	2,358,800	1,769,100	589,700	△141,200	94.4%		
租税公課	661,000	519,200	228,860	290,340	△141,800	78.5%		
その他の管理費	0	281,978	281,978	0	281,978	****	過誤納金返却郵便料受取人負担保金	
3. 基本財産繰入	0	7,045	7,045		7,045	****		
一般基金	0	7,045	7,045		7,045	****		
国際交流基金	0	0	0		0	****		
4. 引当金繰入	705,500	702,063	702,063		△3,437	99.5%		
退職金引当金	705,500	702,063	702,063		△3,437	99.5%		
5. 予備費	1,000,000	0	0	0	△1,000,000	0.0%		
当期 (純) 支出合計	89,274,500	81,127,348	67,536,447	13,590,901	△8,147,152	90.9%		
当期 (純) 収支差額	△3,171,000	1,067,976	△1,072,816	2,140,792	4,238,976	****		
税引前次期繰越収支差額	18,046,252	22,285,228	18,318,821	3,966,407	4,238,976	123.5%		
法人税等引当金繰入		600,000		600,000	600,000	****		
収益から公益へ寄付		1,480,000		1,480,000	1,480,000	****		
税引後当期支出合計		83,207,348	67,536,447	15,670,901				
次期繰越収支差額		21,685,228	19,798,821	1,886,407				

## 損益計算書

2001年度 2001年4月1日～ 2002年 3月31日

損失の部 (円)		利益の部 (円)	
事業支出	6,723,224	事業収入	7,587,269
印刷製本費	5,386,333	気象研究ノート収入	4,910,739
原稿料	254,400	書店取扱収入	2,676,530
編集費	385,000		
通信運搬費	697,491		
運営基本支出	6,960,761	その他の収入	8,144,424
職員給料	3,076,230	受取利息収入	0
福利厚生費	236,871	別刷収入	2,612,442
臨時雇用賃金	461,370	広告料収入	5,506,250
事務局関連経費	1,590,522	印税収入	25,732
電子情報	39,256		
電算機開発管理	94,037		
総会・役員会	353,404		
選挙費用	135,947		
支部交付金	589,700		
租税公課	290,340		
その他	93,084		
期首棚卸	2,175,437	期末棚卸	2,210,432
費用合計	15,859,422	収入合計	17,942,125
当期税引前利益	2,082,703		
法人税等引当金繰出	600,000		
公益事業に寄付	1,480,000		
前期繰越金	4,094,136		
当期繰越金	4,096,839		

(繰越金には棚卸資産が含まれる)

## 貸借対照表

2,001年度  
2002年

3月31日

勘定科目	合計	内訳	
		公益部門	収益部門
I 資産の部	113,692,441	108,519,802	5,172,639
1 流動資産	56,596,065	51,423,426	5,172,639
現金	128,185	84,415	43,770
普通預金	8,737,893	5,819,456	2,918,437
郵便振替貯金	28,367,409	28,367,409	0
公社債信託	17,152,146	17,152,146	0
(小計)	(54,385,633)	(51,423,426)	(2,962,207)
棚卸資産	2,210,432	0	2,210,432
2 固定資産	57,096,376	57,096,376	0
(1) 基本財産	53,980,000	53,980,000	0
貸付信託・預金	22,370,000	22,370,000	0
公社債信託	31,610,000	31,610,000	0
(2) その他	3,116,376	3,116,376	0
金銭信託(退職引当金)	1,631,957	1,631,957	0
什器備品	1,484,419	1,484,419	0
II 負債の部	34,332,362	33,256,562	1,075,800
1. 流動負債	32,700,405	31,624,605	1,075,800
前受会費	29,172,487	29,172,487	0
預り金	2,452,118	2,452,118	0
法人税等引当金	1,075,800	0	1,075,800
2. 固定負債	1,631,957	1,631,957	0
退職金引当金	1,631,957	1,631,957	0
III 正味財産の部	79,360,079	75,263,240	4,096,839
(当期繰越金)	(53,980,000)	(53,980,000)	0
(うち基本財産)			
負債および正味財産の合計	113,692,441	108,519,802	5,172,639

2,001年度  
2001年4月1日～ 2002年 3月31日

正味財産増減計算書

	II 減少の部 (円)		I 増加の部 (円)	
	合計	公益部門	合計	公益部門
資産減少額	6,238,616	2,490,095	35,275,358	30,924,134
基本財産取崩	0	0	1,067,976	△1,072,816
退職金引当金取崩	2,153,057	2,153,057	7,045	7,045
什器備品減価償却費	430,122	337,038	702,063	702,063
期首棚卸額	2,175,437	0	635,355	635,355
公益事業へ寄付	1,480,000	1,480,000	2,210,432	0
負債増加額	30,474,550	29,874,550	29,172,487	29,172,487
退職金引当金繰入	702,063	702,063	1,480,000	1,480,000
前受会費	29,172,487	29,172,487	2,153,057	2,153,057
法人税等引当金繰入	600,000	600,000	2,153,057	2,153,057
減少額合計	36,713,166	32,364,645	37,428,415	33,077,191
当期正味財産増加額	715,249	712,546		
(うち基本財産増加額)	(7,045)	(7,045)		
前期繰越正味財産額	78,644,830	74,550,694		
(うち基本財産)	(53,972,955)	(53,972,955)		
期末正味財産合計額	79,360,079	75,263,240		
(うち基本財産)	(53,980,000)	(53,980,000)		
増加額合計			37,428,415	4,351,224
				2,140,792

財産目録

2002年 3月 31日 現在

資産総額

113,692,441 円

種類	預入先	金額(円)	備考
<b>1. 基本財産</b>			
貸付信託・預金	住友信託銀行 日比谷支店	10,000,000	基本金
	U F J 銀行 東京営業部	6,500,000	山本・正野論文賞
	〃	1,750,000	基本金
	〃	600,000	堀内基金
貸付・金銭信託	中央三井信託銀行日本橋営業部	3,520,000	藤原賞
公社債信託	野村証券本店	16,540,000	国際学術交流基金
	大和証券本店	9,420,000	
	日興コーポリアル証券大手町支店	5,650,000	堀内基金
	合計	53,980,000	
<b>2. その他の固定資産</b>			
金銭信託	中央三井信託銀行日本橋営業部	1,631,957	退職給与引当金
什器備品		1,484,419	
	合計	3,116,376	
<b>3. 流動資産</b>			
現金	手元保管	128,185	
普通預金	第一勧業銀行 大手町支店	8,737,893	
郵便振替預金	中央郵便局	28,367,409	
公社債信託	野村証券 東京支店	8,604,952	
	日興コーポリアル証券大手町支店	8,547,194	
期末在庫高		2,210,432	
	合計	56,596,065	

計算書類に対する注記

2002年3月 31日

1. 重要な会計方針

- 1) 有価証券の評価基準及び評価方法・・・総平均法による原価基準を採用している。
- 2) 固定資産の減価償却・・・什器備品は、定率法による減価償却を実施している。
- 3) 引当金の計上基準・・・退職給与引当金は、期末退職給与の要求額に相当する金額を計上している。
- 4) 資金の範囲・・・現金預金、預り金及び前受金を含むこととしている。

なお当期末残高は、2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は次の通りである。

科目	当期末残高	公益部門	収益部門
現金	128,185	84,415	43,770
普通預金	8,737,893	5,819,456	2,918,437
郵便振替貯金	28,367,409	28,367,409	0
公社債信託	17,152,146	17,152,146	0
(合計)	(54,385,633)	(51,423,426)	(2,962,207)
前受会費	29,172,487	29,172,487	0
預り金	2,452,118	2,452,118	0
法人税等引当金	1,075,800	0	1,075,800
次期繰越収支差額	21,685,228	19,798,821	1,886,407

3. 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

科目	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金	0	0	11,750,000
藤原賞	7,045	0	3,520,000
山本・正野論文賞	0	0	6,500,000
国際学術交流基金	0	0	25,960,000
堀内賞	0	0	6,250,000
合計	7,045	0	53,980,000

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	10,221,315	8,736,896	1,484,419
合計	10,221,315	8,736,896	1,484,419

## 部門別収支の集計(決算)

2,001年度

2001年 4月 1日より  
2002年 3月 31日まで

部門	純収入 (A)	純支出 (B)	純収支差額 (A-B)	管理費分担 (C)	利益 (A-B-C)
公益事業					
天気	32,219,569	22,502,431	9,717,138	10,459,962	△742,824
気象集誌	20,001,084	10,823,650	9,177,434	6,493,277	2,684,157
大会・予備集	9,780,262	6,515,385	3,264,877	3,175,125	89,752
教育と普及	791,290	1,233,640	△442,350	256,889	△699,239
表彰・奨励	134,039	1,693,854	△1,559,815	43,515	△1,603,330
国際学術交流	493,460	674,237	△180,777	160,200	△340,977
受託業務	210,000	0	210,000	68,176	141,824
その他事業	154,575	400,000	△245,425	50,182	△295,607
雑収入・予備費	526,295	0	526,295	170,860	355,435
退職金	2,153,057	2,815,063	△662,006	0	△662,006
合計	66,463,631	46,658,260	19,805,371	20,878,186	△1,072,815

純収入＝各部門の公益事業分収入  
 純支出＝各部門の公益事業分支出  
 純収支差額＝純収入－純支出  
 管理費分担＝管理費の公益事業分の分担  
 (純収入に比例して分担)  
 利益＝純収入－純支出－管理費分担  
 ＝純収支差額－管理費分担

部門	純収入 (A)	純支出 (B)	純収支差額 (A-B)	管理費分担 (C)	利益 (A-B-C)
収益事業					
天気	5,657,482	2,830,014	2,827,468	2,469,776	357,692
気象集誌	1,754,960	892,506	862,454	766,129	96,325
気象研究ノート	4,910,739	2,959,892	1,950,847	2,143,785	△192,938
予備集	706,250	40,812	665,438	308,314	357,124
書店等・予備費	2,702,262	0	2,702,262	1,179,674	1,522,588
合計	15,731,693	6,723,224	9,008,469	6,867,678	2,140,791

純収入＝各部門の収益事業分収入  
 純支出＝各部門の収益事業分支出  
 純収支差額＝純収入－純支出  
 管理費分担＝管理費の収益事業分の分担  
 (純収入に比例して分担)  
 利益＝純収入－純支出－管理費分担  
 ＝純収支差額－管理費分担

## 2001 年度社団法人日本気象学会監査報告

2001 年度社団法人日本気象学会財産及び業務執行の監査結果を次のとおり報告する。

## 1. 監査月日

2002 年 4 月 9 日

## 2. 監査場所

東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁内  
日本気象学会事務局

## 3. 監査帳簿

- (1) 2001 年度会計監査受検調書
- (2) 総勘定元帳
- (3) 財産目録
- (4) 現金出納帳
- (5) 預貯金出納帳
- (6) 備品台帳
- (7) 領収書類
- (8) 預金証書および普通預金通帳
- (9) 郵便振替受払通知票
- (10) 現金受領簿
- (11) 小切手帳
- (12) 2001 年度事業報告書

## 4. 監査内容

- (1) 2001 年度収支計算書およびその他の計算書について、その経理状況を監査すると共に財政状況を調べた。
- (2) 上記の帳簿類について照合を行うと共に出納状況記載事項の監査を実施した。
- (3) 学会の運営状況を聴取し意見を述べた。

## 5. 監査意見

2001 年度（2001 年 4 月 1 日から 2002 年 3 月 31 日まで）の会計に関する帳簿類は、照合の結果、正確であり、収支計算書その他の計算書は正しいと認める。

会費の納入状況は昨年度に引き続き順調に推移している。単年度収支で、収入は横ばいだったが支出が増え、公益事業は約 100 万円の赤字、収益事業は約 200 万円の黒字になり、差し引き約 100 万円の黒字である。

昨年に続いての指摘であるが、黒字は数年来続いて蓄積があり、これを事務の近代化のほか、会員にとって有意義な新規事業等に計画的に利用することを望む。

2002 年 4 月から開始されたペイオフ解禁に対応して貯金等の基本財産、流動資産の分散化が行われた。

今後も、資産の安定的な運用に留意されたい。

現在の会計事務は自主開発ソフトに頼っている。事務の継承を考えた場合、「利用の手引き」の整備による事務の安全化・効率化を図ることが望まれる。

会員数については、通常会員の減少が昨年度に近い 59 名に達し、依然として減少傾向が続いている。「天気」、「気象集誌」の電子ジャーナル化による会員数のさらなる減少に注意しなければならない。まず、会員の入退会の理由を含めて実状を把握し、分析を行なう必要がある。この課題は、総会の定足数問題とも関連があり、会員制度のあり方を含め、総合的な検討と対策が求められる。

大会は参加者数・発表者数の増加傾向が続いており、日数を 4 日間に増やすこと、週末にも開催することが検討されている。より幅広い会員の大会出席の便宜を図るものとして評価する。大会のあり方については、評議員会での議論も踏まえ、広く会員の希望を調査し、それらを反映したものにしていく努力を継続されたい。

国際学術交流事業のうち、学会などへの参加旅費補助の決算額が予算額の約半分に留まった。研究機関の独立行政法人化に伴う旅費環境の変化などに留意しつつ、機動的な運用による有効利用が行なわれるよう期待する。

「天気」、「気象集誌」は計画通り発刊されたが、「気象研究ノート」は 2 号しか発刊されず、予算と決算の差が依然として大きい。希望的観測は捨てて、実態に見合った発刊計画に改めるべきである。また、他の出版物や Web 情報との住み分けなど、研究ノートのあり方を検討する必要もある。

「天気」の内容については、日本気象協会の雑誌「気象」が廃刊になったこともあり、これまでも増して、多様な読者を想定した親しみやすい記事の掲載を期待する。

この一年間、様々な学会活動に熱心に取り組んでこられた理事、各委員会委員、事務局の努力に敬意を表する。

2002 年 4 月 9 日

監事

徳野正己



監事

永田

雅



## 議案 4. 日本気象学会第32期役員選任について

1. 役員候補者選挙において当選した役員候補者  
《理事》 (22名)

## 1) 全国区・理事 (定数9名)

廣田 勇 京都大学名誉教授  
 田中 博 筑波大学地球科学系助教授  
 山内 恭 国立極地研究所教授  
 木田 秀次 京都大学大学院理学研究科教授  
 住 明正 東京大学気候システム研究センター長・教授  
 新野 宏 東京大学海洋研究所助教授  
 中澤 高清 東北大学大学院理学研究科教授  
 古川 武彦 財団法人 日本気象協会 技師長  
 宮原 三郎 九州大学大学院理学研究院教授

## 2) 地方区・理事 (定数13名)

## [北海道] (定数2名)

藤吉 康志 北海道大学低温科学研究所教授  
 藤谷徳之助 札幌管区気象台長

## [東北] (定数2名)

岩崎 俊樹 東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻教授  
 牧原 康隆 仙台管区気象台技術部長

## [関東] (定数2名)

神沢 博 国立環境研究所大気圏環境研究領域大気物理研究室長  
 藤部 文昭 気象研究所予報研究部主任研究官

## [中部] (定数2名)

岩坂 泰信 名古屋大学大学院環境学研究科教授  
 白木 正規 名古屋地方気象台長

## [関西] (定数2名)

巽 保夫 大阪管区気象台長  
 岩嶋 樹也 京都大学防災研究所教授

## [九州] (定数2名)

伊藤 久徳 九州大学大学院理学研究院教授  
 平木 哲 福岡管区気象台長

## [沖縄] (定数1名)

米谷 恒春 琉球大学理学部教授

## 3) 全国区・監事 (定数2名)

永田 雅 気象庁予報部予報課太平洋台風センター予報官  
 齊藤 和雄 気象庁予報部数値予報課予報官

2. 理事候補者選挙当選者からの推薦による理事候補者  
《理事》(5名)

○全国区(5名)

近藤 豊 東京大学先端科学研究センター教授(1949.11.24生)

推薦理由:近藤会員は、対流圏、成層圏を問わず、オゾンや窒素酸化物を中心に広範な化学反応ダイナミクスの研究、とりわけ航空機による対流圏の広域にわたる大気微量成分の動態の研究、北極成層圏におけるオゾン減少メカニズムの解明などに大きな業績を挙げてきた。学会の発展には、近藤会員の大気化学の豊かな知識とそれに基づいた大気環境問題への洞察力に期待するところが大きく、理事候補として推薦する。

津田 敏隆 京都大学宙空電波科学研究センター教授(1952.10.3 生)

推薦理由:津田会員は、京都大学宙空電波科学研究センターの教授職にあり、MU レーダー、流星レーダー、ゾンデなど様々な観測機器を用いて、日本だけではなくインドネシアをはじめとし世界各地において、対流圏から下部熱圏に至る広い高度範囲にわたる大気波動現象の観測および解析を実施し、数多くの成果をあげてきた。特に最近では、GPS を利用した重力波の観測解析を実施し、これまで断片的にしか解明されていなかった重力波活動度のグローバルな分布を解明し世界的に注目されている。

このように同会員は、観測からデータ解析まで幅広い研究を展開しており、気象学の発展に大きく貢献してきた。気象データの公開が一つの大きな論点となっている現状において、大気観測の専門家としての見地から気象学会への貢献が大いに期待される。また、同会員は地球電磁気・地球惑星圏学会の主要メンバーとして活躍されており、気象学にとどまらない広い視点からの気象学会への貢献も大いに期待される。

以上の理由により、津田会員を日本気象学会第32期理事として推薦する。

坪田 幸政 慶應義塾高等学校地学教室(1956.5.25生)

推薦理由:坪田会員は、慶應義塾高等学校地学教室において、実験・実習を中心とした教材やコンピュータを中心とした教材を独自に開発し、ユニークな授業を展開しながら、学校気象ネットワークの構築とホームページでの公開、システムモデルを用いた科学教育の研究などの活動を行なっている。また、教育・普及活動として月刊誌「気象」の「気象の実験」、「インターネットの気象情報」シリーズへの寄稿、高校教科書の執筆・編集、アメリカ気象学会の教員研修プログラムのテキスト「Hands on Meteorology」などの翻訳、数多くの一般・教員・中高生むけの普及講座の開催などを行ってきている。一方で大学や大学院で気象学・気象教育学に関する非常勤講師を務めている。

このように、坪田会員は、幅広い視野から気象学・気象教育の研究と気象学の知識の普及に精力的に活躍している。気象学会は、従来にも増して教育と普及に力を注いでいくことが重要と考えられる現状において、教育と普及にご尽力いただくことは、日本気象学会にとって極めて有益であるので、第32期理事として推薦する。

萬納寺信崇 気象庁 気候・海洋気象部 気候情報課 モデル開発推進官(1957.1.6生)

推薦理由:萬納寺会員は、気象庁気候・海洋気象部において、季節予報モデルの開発を担当している数値予報の専門家、気象学の進歩を基礎に数値予報モデルの改良に努めている。また、世界気象機関の基礎組織委員会において専門家チームメンバーを務め、世界的な気象事業の発展のために活動を行っている。また、気象学会においては第31期の理事を務めた。これらの知識と経験を学会活動にも生かしていただきたいと考え、理事候補として推薦する。

勝山 税 気象庁観測部観測課統計室（1955.9.24生）

推薦理由：勝山会員は、現在気象庁観測部観測課統計室に所属している。これまでの業務の経験から、地上気象をはじめとする各種の気象観測に関し幅広い知識を有している。また、予算事務などの経験も豊富でありこれらの能力を学会活動に生かしていただきたいと考え、理事候補として推薦する。

### 3. 理事候補者の辞任に伴う追加推薦について

日本気象学会第32期の理事候補者から理事を辞任したいとの希望が理事長に対して提出され、日本気象学会定款第21条の規定に従って理事会としてこれを承認しました。また、後任の理事候補としては、日本気象学会細則第6条第11項の規定により、理事会の議を経て、各所属支部から推薦のあった会員を理事長から推薦することにいたしました。総会で審議していただくようお願いいたします。

なお、今回辞任された理事候補者と、後任理事候補者は以下の通りです。（敬称略）

辞任理事候補者： 藤谷徳之助理事（北海道地区選出）

白木 正規理事（中部地区）

巽 保夫理事（関西地区選出）

後任理事候補者： 大西 晴夫（北海道地区）

村松 照男（中部支部）

佐々木秀行（関西地区）

北海道地区 1名

候補者名：大西 晴夫会員

所 属：気象庁札幌管区气象台

生年月日：1946年12月28日

推薦理由：

大西会員は、現在札幌管区气象台長の職にあるが、これまで気象研究所において台風モデルの研究に従事し、この分野での専門家として多く実績を残している。その後、気象庁予報部太平洋台風センターに移り、センター長として台風予報の現場で活躍し、特に国際共同実験スペクトラムの実施に際してはその中心となって活躍した。また、予報部業務課長の重責を果たし、予報業務分野における豊富な行政経験を有している。

一方、日本気象学会においては、第27期から第28期の4年間の長きにわたり全国理事（常任理事）を務め、学会活動の中核として活躍してきた。さらに、北海道支部の常任理事も務め地方での学会活動にも従事した。

このように気象行政並びに学会活動に豊富な経験を有する大西会員は、日本気象学会発展のために活躍されることが期待される。

以上のことから大西会員を日本気象学会第32期理事として推薦する。

中部地区 1名

候補者名：村松 照男会員

所 属：気象庁名古屋地方気象台

生年月日：1945年1月21日

推薦理由：

村松会員は、気象研究所において台風に関する卓越した研究を進めた後、予報部予報課において天気予報の現業に携わりながら研究成果を予報作業に取り入れるなど、気象研究と気象業務の両面で気象学の発展に尽くした。また、気象大学校においては、学生教育や気象庁の地方職員の研修に携わるとともに、著作や講演により一般市民に対して気象知識の普及にも貢献してきた。さらに、その後の予報部や札幌管区技術部では気象業務の改善計画を推進するなど、気象行政の面でも豊富な経験を有している。過去には、第29期、第30期の常任理事の経験もあり、これらの知識と経験をもとに、今後は地方気象台長の視点から第32期の地区推薦理事として中部地区の学会活動と運営に活躍することが期待できる。

関西地区 1名

候補者名：佐々木秀行会員

所 属：気象庁大阪管区気象台

生年月日：1953年4月5日

推薦理由：

佐々木会員は、気象庁での長年にわたる勤務において、海洋、衛星気象、数値予報、運輸省環境・海洋課での地球環境行政など各方面にわたり幅広く従事し、気象庁総務部企画課国際室長の重責を果たしている。特に気象衛星に関してはその専門知識を活かし、1990年に発行された気象研究ノート第169号「地球監視のための人工衛星計画」の執筆を担当するなど、学会活動にも精力的に関わってきた。

これらの豊富な経験を活かし、幅広い視点から学会の活動に貢献することが期待される。

以上のことから、佐々木会員を日本気象学会第32期理事として推薦する。

## 議案 5

## 2002年度事業計画(案)

## 1. 機関誌等の刊行

- (1) 天 気 49巻4号～50巻3号
- (2) 気象集誌 80巻2号～81巻1号
- (3) 気象研究ノート 202号～204号
- (4) 大会予稿集  
春季大会 81号 秋季大会 82号

## 2. 会議等の開催

- 通常総会 2002年度総会 (5月23日)
- 理事会 3回 (5月、10月、3月)
- 常任理事会 11回
- 評議員会 1回 (3月)
- 監事会 1回 (4月)

## 3. 各委員会等の活動

- 天気編集委員会
- 気象集誌編集委員会
- 気象研究ノート編集委員会
- 総合計画委員会
- 講演企画委員会
- 教育と普及委員会
- 学会賞候補者推薦委員会等
- 国際学術交流委員会
- 電子情報委員会
- 用語検討委員会
- 地球環境問題委員会

## 4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会  
2002年5月22(水)～24日(金)  
会場：大宮ソニックシティ  
(担当：国立極地研究所)  
シンポジウム 5月23日(木)  
題名：21世紀の極域科学

—今なぜ南極観測なのか—

## (2) 秋季大会

- 2002年10月9(水)～11日(金)
- 会場：札幌市  
学術交流会館・百年記念会館  
(担当：北海道支部)
- シンポジウム 10月10日  
題名：オホーツク海と気候(仮題)

## (3) 研究連絡会、月例会等

- ・ IGBP / GAIM研究連絡会
- ・ 極域・寒冷域研究連絡会
- ・ メソ気象研究連絡会
- ・ オゾン研究連絡会
- ・ 大気海洋陸面相互作用研究連絡会
- ・ 気象教育研究連絡会
- ・ 非静力学数値モデル研究連絡会
- ・ 山の気象シンポジウム
- ・ 長期予報と大気大循環
- ・ レーダー気象

## (4) 気象若手会 夏の学校

## 5. 研究業績の表彰

- ・ 日本気象学会賞
- ・ 藤原賞
- ・ 山本・正野論文賞
- ・ 堀内賞
- ・ 奨励賞

## 6. 支部活動

- (1) 各支部研究発表会
- (2) 気象講演会  
1) 北海道支部  
期 日：2002年10月予定  
題 目：未定

- 2) 東北支部  
期 日：2002年10月(予定)  
題 目：未定
- 3) 関西支部  
4回(近畿地区2回、中国、四国地区で各1回)
- 4) 九州支部  
期 日：2003年3月(予定)  
題 目：未定
- 5) 沖縄支部  
期 日：2002年9月予定  
題 目：未定(防災気象関係)
7. 普及活動
- (1) 第36回夏季大学  
期 日：2002年8月予定  
題 目：天気予報最前線
- (2) 北海道支部第20回夏季大学  
期 日：2002年7月下旬予定  
題 目：新しい気象学
- (3) 中部支部 第9回気象講座  
期 日：2002年8月(予定)  
題 目：未定
- (4) 関西支部第24回夏季大学  
期 日：2002年7月予定  
題 目：未定
- (5) 気象技術講習会
8. 対外活動
- (1) 地球環境科学関連学会協議会参加
- (2) 地球惑星科学関連学会合同大会の  
テーマ別セッション共催
- (3) 風工学シンポジウム共催
- (4) IUGG2003年大会準備参加
- (5) 第39回理工学における同位元素・放射線研究発表会共催
- (6) 理論応用力学講演会共催
9. 国際学術交流活動  
気象学における国際的な発展及び交流を図るための、国際交流事業への支援を行う
10. 電子情報関連
- (1) 国立情報学研究所への対応
- (2) 学会ホームページ管理運営
- (3) 気象データの有効利用
- (4) メールリストの管理
11. その他  
気象学会会員名簿の刊行
12. 事務局の構成
- |      |       |
|------|-------|
| 事務局長 | 館 英男  |
|      | 鈴木 忠臣 |
|      | 島村 泰正 |

議案 6 収支予算書(案)

2,002年度

会計報告書表

2002年4月1日より  
2003年3月31日まで

勘定科目	1年度		2年度		内		増減 (B)-(A)	備考
	予算(A)	決算	予算(B)	2年度	公益部門	収益部門		
1. 会費収入	40,057,000	40,336,834	39,457,000	39,457,000	39,457,000		△600,000	
通常会員	30,739,000	31,224,636	30,386,000	30,386,000	30,386,000		△353,000	
特別会員	736,000	1,039,148	784,000	784,000	784,000		48,000	
団体会員	5,652,000	5,164,205	5,337,000	5,337,000	5,337,000		△315,000	
賛助会員	2,930,000	2,908,845	2,950,000	2,950,000	2,950,000		20,000	
2. 基本財産運用	490,000	627,499	616,000	616,000	616,000		126,000	
一般基金	240,000	134,039	126,000	126,000	126,000		△114,000	
国際交流基金	250,000	493,460	490,000	490,000	490,000		240,000	
3. 事業収入	38,988,000	34,425,907	39,655,000	39,655,000	17,631,000	22,024,000	667,000	
天気	7,095,000	6,955,018	6,640,000	6,640,000	1,030,000	5,610,000	△455,000	投稿料、別刷代、広告料
気象集誌	7,020,000	8,241,243	7,359,000	7,359,000	5,880,000	1,479,000	339,000	投稿料、別刷代
気象研究ノート	11,885,000	4,910,739	11,885,000	11,885,000		11,885,000	0	3冊(202-204)
予稿集	6,152,000	6,905,512	6,990,000	6,990,000	6,140,000	850,000	838,000	
大会開催	3,080,000	3,581,000	3,513,000	3,513,000	3,513,000		433,000	大会参加費
教育と普及	886,000	791,290	901,000	901,000	901,000		15,000	夏季大学受講料とテキスト
書店扱	2,665,000	2,676,530	2,200,000	2,200,000		2,200,000	△465,000	
業務受託	0	210,000	0	0	0	0	0	
その他事業収入	205,000	154,575	167,000	167,000	167,000	0	△38,000	他の刊行物等
4. 補助金収入	3,800,000	4,100,000	4,100,000	4,100,000	4,100,000		300,000	
科学研究費	3,800,000	4,100,000	4,100,000	4,100,000	4,100,000		300,000	
その他	0	0	0	0	0		0	
5. 寄付金収入	0	0	0	0	0		0	
寄付金	0	0	0	0	0		0	
募金	0	0	0	0	0		0	
6. 基本財産取崩収入	0	0	0	0	0		0	
一般基金	0	0	0	0	0		0	
国際交流基金	0	0	0	0	0		0	

収支予算書(案)

2002年度  
2003年3月31日まで

2002年4月1日より

2002年度

1. 収入の部(2) (円)

勘定科目	1年度 予算(A)	1年度 決算	2年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
7. 引当金取崩収入 退職金引当金	2,113,000 2,113,000	2,153,057 2,153,057	0	0	0	△2,113,000 △2,113,000	
8. 雑収入	655,500	552,027	276,500	251,500	25,000	△379,000	引当金、運用財産
受取利息	185,500	36,313	39,500	39,500		△146,000	
著作権複写許可料	420,000	212,706	212,000	212,000		△208,000	
印税	50,000	25,732	25,000		25,000	△25,000	
その他	0	277,276	0	0	0	0	
当期収入合計	86,103,500	82,195,324	84,104,500	62,055,500	22,049,000	△1,999,000	
前期繰越収支差額	21,217,252	21,217,252	21,685,228	19,798,821	1,886,407	467,976	
収入合計	107,320,752	103,412,576	105,789,728	81,854,321	23,935,407	△1,531,024	

2. 支出の部(1) (円)

勘定科目	1年度 予算(A)	1年度 決算	2年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
I. 事業費	56,047,000	50,559,376	58,464,000	45,917,000	12,547,000	2,417,000	
天気	24,764,000	25,332,445	24,355,000	21,530,000	2,825,000	△409,000	
印刷製本費	18,779,000	19,397,620	18,439,000	15,656,000	2,783,000	△340,000	
編集委員会議費	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		0	
通信運搬費	4,785,000	4,734,825	4,716,000	4,674,000	42,000	△69,000	
気象集誌	11,082,000	11,716,156	11,854,000	10,805,000	1,048,000	772,000	
印刷製本費	7,438,000	8,141,826	8,625,000	7,767,000	858,000	1,187,000	
編集委員会議費	1,289,000	1,289,000	1,289,000	1,289,000		0	
校正料	600,000	604,191	600,000	600,000		0	
通信運搬費	1,755,000	1,681,139	1,340,000	1,150,000	190,000	△415,000	

## 収支予算書(案)

2.002年度

2002年4月1日より  
2003年3月31日まで

支出の部(2)	1年度		2年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
	予算(A)	決算		公益部門	汎 収益部門		
気象研究ノート	8,620,000	2,959,892	8,620,000	8,620,000	0	0	202号から204号を発行予定
印刷製本費	6,400,000	1,863,576	6,400,000	6,400,000	0	0	
編集委員会費	440,000	385,000	440,000	440,000	0	0	
原稿料	840,000	254,400	840,000	840,000	0	0	
通信運搬費	940,000	456,916	940,000	940,000	0	0	
予備費	2,412,000	2,305,158	2,376,000	2,322,000	△36,000	△36,000	
印刷製本費	1,672,000	1,503,390	1,574,000	1,520,000	54,000	△98,000	
通信運搬費	740,000	801,768	802,000	802,000	0	62,000	
大会開催	4,360,000	4,251,039	5,660,000	5,660,000	0	1,300,000	
春秋大会	4,000,000	3,984,459	5,200,000	5,200,000	0	1,200,000	本部からの補助金
その他会合	210,000	116,580	310,000	310,000	0	100,000	地球環境科学関連学会協議会他
講演企画委	150,000	150,000	150,000	150,000	0	0	若手会補助を含む
教育と普及	1,369,000	1,233,640	1,369,000	1,369,000	0	0	
委員会	150,000	150,000	150,000	150,000	0	0	
夏季大学開催	369,000	290,560	369,000	369,000	0	0	会場費、設営費、印刷費
支部夏季大学補助	300,000	300,000	300,000	300,000	0	0	支部開催の夏季大学を補助
夏季大学テキスト	550,000	493,080	550,000	550,000	0	0	(北海道、関西、中部)
表彰・奨励	1,820,000	1,686,809	2,560,000	2,560,000	740,000	740,000	
賞金	1,000,000	1,100,000	1,000,000	1,000,000	0	0	
委員会	310,000	193,940	310,000	310,000	0	0	
雑費	510,000	392,869	1,250,000	1,250,000	740,000	740,000	受賞者旅費、メダル作製他
国際学術交流	1,320,000	674,237	1,320,000	1,320,000	0	0	
参加旅費補助	1,100,000	650,000	1,100,000	1,100,000	0	0	
交流事業	200,000	0	200,000	200,000	0	0	
委員会費	20,000	24,237	20,000	20,000	0	0	
研究連絡会	300,000	200,000	350,000	350,000	50,000	50,000	極域、オゾン、メソ、陸面大気海洋、 教育普及、GAIM、非静力
受託業務費	0	0	0	0	0	0	
その他事業費	0	200,000	0	0	0	0	

収 支 予 算 書 (案)

2002年度  
2003年 3月31日まで

2. 支出の部 (3)

(円)

勘定科目	1年度		2年度		内		増減 (B)-(A)	備考
	予算(A)	決算	予算(B)	予算(B)	公益部門	収益部門		
2. 管理費	31,522,000	29,858,864	30,015,000	30,015,000	22,499,000	7,516,000	△1,507,000	25.00%
人件費	15,186,000	15,097,883	15,562,000	15,562,000	11,671,500	3,890,500	376,000	
職員給料	12,566,000	12,304,920	12,430,000	12,430,000	9,322,500	3,107,500	△136,000	
福利厚生費	823,000	947,483	1,270,000	1,270,000	952,500	317,500	447,000	
臨時雇用賃金	1,797,000	1,845,480	1,862,000	1,862,000	1,396,500	465,500	65,000	
退職金	2,113,000	2,113,000	0	0	0		△2,113,000	
事務局関連経費	7,192,000	6,997,431	8,617,000	8,617,000	6,609,250	2,007,750	1,425,000	施設保守維持分担当を含む
賃借料	1,566,000	1,374,273	1,566,000	1,566,000	1,174,500	391,500	0	
光熱水料	150,000	97,426	100,000	100,000	75,000	25,000	△50,000	
消耗品	372,000	319,431	372,000	372,000	279,000	93,000	0	
什器備品	300,000	635,355	586,000	586,000	586,000	0	286,000	事務器 調度品等
借料	258,000	257,040	258,000	258,000	193,500	64,500	0	複写機レンタル料
通信運搬費	1,714,000	1,685,240	1,970,000	1,970,000	1,477,500	492,500	256,000	郵便, 電話, 宅急便
印刷製本費	1,300,000	1,176,672	1,300,000	1,300,000	975,000	325,000	0	封筒 雜誌製本 総会資料
旅費交通費	10,000	2,400	10,000	10,000	7,500	2,500	0	
会議費	10,000	1,470	10,000	10,000	7,500	2,500	0	
雑費・交際費	20,000	1,000	20,000	20,000	15,000	5,000	0	
手数料	370,000	422,271	370,000	370,000	277,500	92,500	0	振込手数料など
事務委託費	360,000	317,188	360,000	360,000	270,000	90,000	0	会費請求書作成
諸会費・謝金	340,000	340,000	340,000	340,000	255,000	85,000	0	会計士, 学術協力財団賛助会費等
その他	422,000	367,665	1,355,000	1,355,000	1,016,250	338,750	933,000	コピーカウター料, 会員名簿作成他

収支予算書(案)

2,002年度

2002年4月1日より  
2003年3月31日まで

2. 支出の部(4) (円)

勘定科目	1年度 予算(A)	1年度 決算	2年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
電子情報	170,000	157,024	173,000	129,750	43,250	3,000	OCNサービス料、電子情報委員会費 会員データベース委託管理及び改良  消費税他 返却金等
電算機器開発管理	980,000	376,146	980,000	735,000	245,000	0	
総会・役員会	1,961,000	1,413,614	1,618,000	1,213,500	404,500	△343,000	
選挙費用	759,000	543,788	0	0	0	△759,000	
支部交付金	2,500,000	2,358,800	2,500,000	1,875,000	625,000	0	
租税公課	661,000	519,200	565,000	265,000	300,000	△96,000	
その他	0	281,978	0	0	0	0	
3. 基本財産繰入	0	7,045	0	0	0	0	
一般基金	0	7,045	0	0	0	0	
国際交流基金	0	0	0	0	0	0	
4. 引当金繰入	705,500	702,063	690,500	690,500	690,500	△15,000	
退職引当金	705,500	702,063	690,500	690,500	690,500	△15,000	
5. 予備費	1,000,000	0	1,000,000	750,000	250,000	0	
当期支出合計	89,274,500	81,127,348	90,169,500	69,856,500	20,313,000	895,000	
当期(純)収支差額	△3,171,000	1,067,976	△6,065,000	△7,801,000	1,736,000	△2,894,000	
税引前次期繰越収支差額	18,046,252	22,285,228	15,620,228	11,997,821	3,622,407	△2,426,024	